

詩歌・俳句の賞事典

日外アソシエーツ 編 A5・530頁 定価(本体13,500円+税) ISBN978-4-8169-2574-0 2015年12月刊行

詩壇の芥川賞とも呼ばれる“H氏賞”から俳句の“蛇笏賞”まで265賞

- 国内の主な文学賞の中から、詩・短歌・俳句・川柳に関する賞の情報を一覧できる“賞の事典”です。
- 各種企業・団体から自治体主催の地方文学賞まで265賞を収録しました。

賞の概要と歴代受賞者を総覧

- 各賞の設立経緯、選考基準、選考委員、賞金などを解説するとともに、賞設立以来歴代の受賞者記録を掲載しました。
- 個人名から引ける「受賞者名索引」付き。

〔収録賞例〕

詩歌文学館賞／読売文学賞 詩歌俳句賞／H氏賞
／現代詩手帖賞／現代詩花椿賞／中原中也賞／日本詩人クラブ賞／萩原朔太郎賞／三越左千夫少年詩賞／歌壇賞／角川短歌賞／遼空賞／寺山修司短歌賞／与謝野晶子短歌文学賞／角川俳句賞／現代俳句協会賞／蛇笏賞／俳人協会賞／俳壇賞／不浪人賞 …など265賞

■既刊■☒ 小説に関する300賞の受賞情報を一覧

小説の賞事典

A5・540頁 定価(本体13,500円+税) ISBN978-4-8169-2517-7 2015.1刊

内容見本

092 富田碎花賞

詩人富田碎花は、大正期の民衆詩派詩人として、ホイットマンの「草の葉」の訳詩者として知られている。大正9年以降芦屋に定住し、“兵庫県文化の父”ともよばれた。平成2年、碎花の生誕100年、芦屋市制50周年、教育委員会設置40周年を記念し、創設された。

【主催者】 富田碎花顕彰会

【選考委員】 鈴木漠、時里二郎、福井久子、松尾茂夫、安水稔和

【選考方法】 公募

【選考基準】 〔対象〕詩集。〔資格〕前年7月から当該年6月末日までに発行された詩集。(但し、翻訳、アンソロジー、復刻及び遺稿集は除く)。〔応募期間〕5月1日から7月31日まで(必着)〔応募方法〕詩集2冊、応募票(郵便番号・住所、氏名(フリガナ)・ペンネームもあれば併記、連絡先(電話番号・携帯電話可))を送付

【締切・発表】(第26回)平成27年7月31日締切(必着)、10月中旬に発表、11月15日に贈呈式

【賞・賞金】 正賞賞状、副賞50万円

【URL】 <http://www.city.ashiya.lg.jp/gakushuu/saika.html>

第1回(平2年)

長田 弘「心の中にもっている問題」〔晶文社〕

第2回(平3年)

時里 二郎「星痕を巡る七つの異文」〔書肆山田〕

第3回(平4年)

北畑 光男「救済(すくいざわ)まで」〔土曜美術社〕

第4回(平5年)

大崎 二郎「沖繩島」〔青帖社〕

第5回(平6年)

平林 敏彦「磔刑の夏」〔思潮社〕

第6回(平7年)

西岡 寿美子「へんろみちで」〔二人発行所〕

第7回(平8年)

深津 朝雄「アノ昔」〔素樹社〕

第8回(平9年)

中塚 鞠子「駱駝の園」〔思潮社〕

第9回(平10年)

広部 英一「苜蓿」〔詩学社〕

第10回(平11年)

清岳 こう「天南星の食卓から」

〔土曜美術社出版販売〕

第11回(平12年)

川島 完「ピエタの夜」〔紙鷲社〕

第12回(平13年)

山本 美代子「西洋梨そのほか」〔編集工房ノア〕

第13回(平14年)

木津 川昭夫「掌の上の小さい国」

〔思潮社〕

第14回(平15年)

皆木 信昭「ごんごの淵」〔書肆青樹社〕

2016.9

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注文書

詩歌・俳句の賞事典

定価(本体13,500円+税) ISBN978-4-8169-2574-0

冊



9784816925740